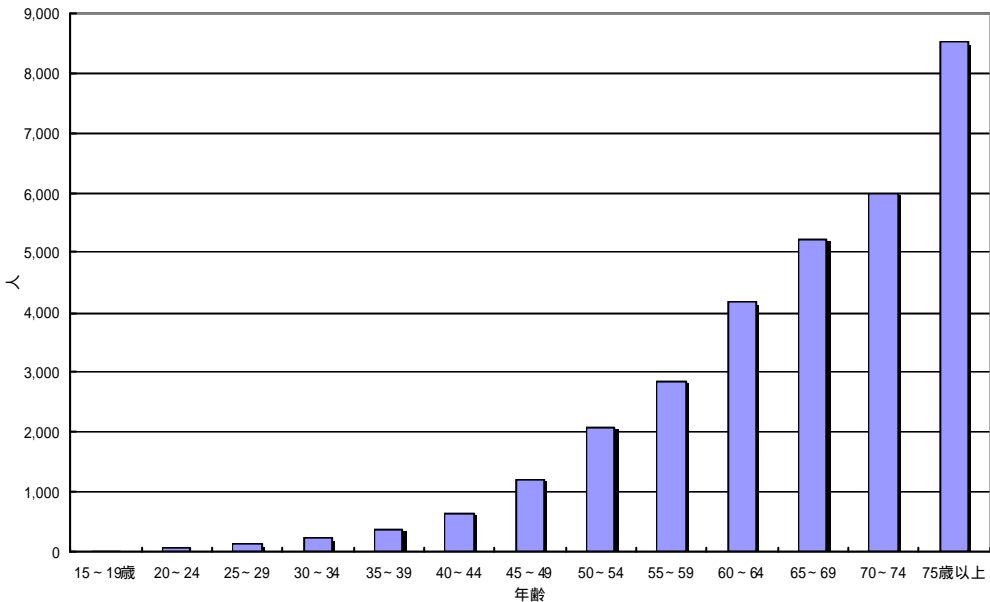


「山梨の農業に明日は無い？」

山梨大学名誉教授・前山梨大学副学長 伊藤 洋

個人体的体験で恐縮だが、筆者は毎日朝昼晩と自転車を乗っオフイス通いをしている。ここは、山梨県内屈指の穀倉地帯。水稲作、野菜、果樹など、多種多様な作物が急増している。その一方で、高齢化が進み、農業従事者の減少が顕著である。



この穀倉地帯の農業を支えているのは、高齢者ばかりで、若い世代はほとんどいない。その実態を端的に示す。山梨県は、果樹栽培が盛んな地域だが、水稲作も重要な収入源である。しかし、高齢化が進むにつれて、農業従事者の減少が深刻化している。このままでは、山梨県の農業は持続不可能になる。政府や県は、農業の活性化と高齢者の支援に力を入れる必要がある。

